

陰と陽をバランス良く身につけないと
一流のリーダーには決してなれない
—人間学を学んで下さい—

山口 一道

山口経営コンサルタント事務所 代表
一般社団法人アジアビジネス連携協議会 顧問
YMCグループ 代表

本日の内容

- ✓ 東洋思想・哲学の根本概念とは？
- ✓ 陰と陽についての5つの基本的な考え方とは？
- ✓ では、陰と陽の二つの力とは具体的には何か？
- ✓ リーダーにとって重要な育てる力について
- ✓ 私の体験と反省
- ✓ 一つの結論として、まとめ
- ✓ 東洋思想哲学の特徴と、それが今後大いに期待される点について
- ✓ リーダーのタイプは二通りで、人間は三重構造をしている
- ✓ 人間学とは何か？
- ✓ なぜ私は人間学の必要性に気づいたのか？
- ✓ 今後の展開について

1. 東洋思想・哲学の根本概念とは？

- ✓ 「陰」と「陽」
- ✓ 二つの力の必要性を説いています

2. 陰と陽についての5つの基本的な考え方とは？

- ① 陰と陽は別々のものではありません（2つで1つです）
 - ② 便宜的に分けてあるだけで（2つはもともと1つのモノです）
 - ③ モノには陰の面と陽の面があります
 - ④ 陰陽は、相互に依存し、協力し合った関係で、1つだけでは存在しません
 - ⑤ 陰と陽が結ばれて1つにならないと何も生まれません
- ✓ この概念は東洋思想の根本思想であり、「**陰陽相對（待）性原理**」と呼ばれ大変有名な原理原則です。

3. では、陰と陽の二つの力とは具体的には何か？

- 陽の力（器量という）
- 付属的要素（末）（枝葉末節）
- 「才」「才幹」（仕事などの対処能力のこと）
- 知識・知性・知能・技能・スキル・ノウハウ・テクニク
- 経営学、経営力、仕事力の領域
- 自分を成長させる力、話す力、教える力
- 社会的成功、経済的成長・発展を支える力
- 短期的 西洋の思想哲学

- 陰の力（度量という）
- 本質的要素（本）（根本）（根に相当）
- 「徳」「徳性」「徳望」（徳性や人望のこと）
- 人間性・人格
- 人間学、人間力の領域
- 人を育てる力、聞く力、人の力を引き出す力
- 人間的成功、人間的成長を支える力
- 長期的 東洋の思想哲学

★一流のリーダーの条件として、
陰と陽の二つの力をバランス良く身につけることが必要不可欠

4. リーダーにとって重要な育てる力について

- ✓ 一般人は育てる力を陽の力と誤解しています。
- ✓ 実は**育てる力は陰の力**なのです。→今回の講義の重要な点
- ✓ 「**教育**」といますが、教えることと育てることは陽と陰の関係です。

- ✓ もし部下やスタッフが育っていない時は、陰の力が不足していたからと考える良いでしょう。
- ✓ 陽の力は自分自身を成長させる力であり、他の人や周りを育てるには力にはなりません。
- ✓ 人を育てるのは陰の力です。

5. 私の体験と反省

- ✓ 私は知らなかったため、陽の力ばかりを求めていました。
- ✓ 自分の力量さえ向上すればクライアント（お客様）も成長できて、それで良いのだと思い込んでいました。
- ✓ だから陽の力である知識・スキル・ノウハウばかりを求めていたのです。
→思えば恥ずかしい限りで反省ばかりです。誰からも教えて頂けませんでした。
- ✓ 現代でも教えてくれる人は少ないと思います。

6. 一つの結論として、まとめ

- ✓ 単に知識や技能を教えて「才」を付けさせるなら、陽の力（器量）を活用し教育・研修すれば解決します。→短期的には効果を発揮できるでしょう。
 - ✓ しかし、本当に人間を育て、人格人物を育て、「徳」を身につけさせ、一流のリーダーを育て、組織の最大命題である永続を求めるならば、陰の力（度量）が是非とも必要になります
- ↓
- ✓ これが一つの結論です。

7. 東洋思想哲学の特徴、大いに期待される点

- ✓ ビジネスの世界や一般の社会では、経済的な成長や発展、利益の拡大など「陽の力」ばかりを追いかけて参りました。それが幸せになる最高の価値観であると信じてやって参りました。

だが皮肉にも、その結果、西洋の近代資本主義が終わりを迎え、行き詰ってしまいました。よって現在の世界は文明の大転換期に突入しています。

- ✓ つまり、陽の力だけを求めるだけでは、ビジネスも人生も上手く行かないことに、西洋のエリート達が気づき始めたのです。陽だけでなく、陰の力の必要性にやっと気づいたのです。

今後はこの混迷な時代を打開する切り札として、西洋の思想以上に、東洋の思想や哲学が大いに期待されています。見直されつつあるのです。

- ✓ その証拠にアメリカで一流のハーバード大学では、「論語」などの東洋思想や哲学の講義が絶大なる人気を誇っているとのことであります。

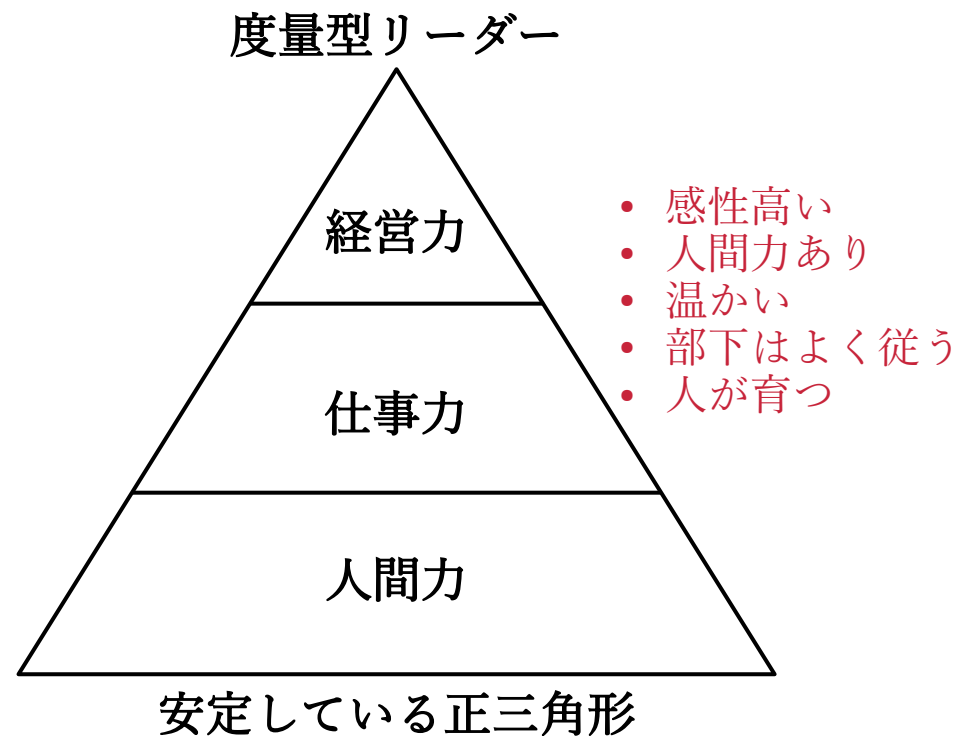
8. リーダーのタイプは二通り、人間は三重構造

- ✓ 現在は実績主義に重点が置かれているため、**陽の力**である**器量型**のリーダーが圧倒的に多いです。
- ✓ しかし、陽の力の器量がいかに大きくても人は育たないし、心からその上司に付いて行こうとは思わないでしょう。
- ✓ 知識やテクニック中心で、**理性中心主義**のリーダーシップを発揮されても人は動かないからです。

8. リーダーのタイプは二通り、人間は三重構造

- ✓ 陰の力である**度量型**のリーダーならば**感性**も高いし、**人間力**もあり、**温かみ**も感じられるため部下も従いやすいものです。

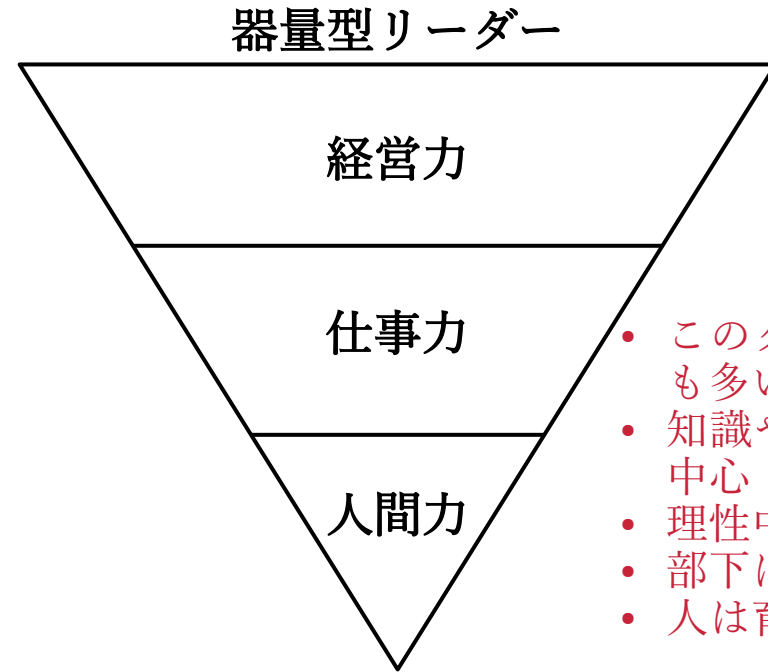
このタイプのリーダーは、絵に画きますと**人間力・人間学**が基礎やベースになり底辺を固め、その上に**仕事力**や**経営力**が乗っていますから、**正三角形**の形をしています。安定感があります。



8. リーダーのタイプは二通り、人間は三重構造

- ✓ 陽の力である器量型のリーダーの形は、上にあるべき仕事力や経営力が大きくて、底辺にある人間学や人間力が相対的に小さくて弱い形をしています。小さい人間学や人間力の上に大きな仕事力や経営力が乗っていますから、頭でっかちの形で**逆三角形**の形になっています。

不安定な形で、いつひっくり返ってもおかしくない形で、ヒヤヒヤの連続です。このタイプは勧められません。改造が求められます。



- このタイプがとても多い
- 知識やテクニク中心
- 理性中心主義
- 部下は動かない
- 人は育たない

頭でっかちで、
不安定な逆三角形

8. リーダーのタイプは二通り、人間は三重構造

- ✓ 原理原則を申しておきますが、人間の基礎としての**人間力**を身につけてゆけば、自然に**仕事力**も**経営力**も身につけてゆくものなのです。不思議でしょうが原理原則なのです。
- ✓ 人間とは根を深く養えば上に上にと成長ができるものなのです。人間も植物も原理は同じものになります。

9. 人間学とは何か？

- ① 人間の本質を探究する学問
 - ② 一回限りの人生をいかに生きるべきかを学び、人生を有意義にするために学ぶ
 - ③ 本物の人間になるために学ぶ
 - ④ 人間的魅力（人間力）をいかにして身につけるかを学ぶもの
-
- ✓ 社長だリーダーだと地位を語る前に、一人の人間であることを忘れてはいけません。そのために人間学を学び人間を磨くことが求められているのです。
 - ✓ 「人間学なき者に指導者やリーダーの資格なし」と言われます。

10. なぜ私は人間学の必要性に気づいたのか？

- ① 若い頃は経営学中心でした。知識・スキル・ノウハウばかり、職業柄で仕方がなかったかも知れません。経営学さえ身につければすべて上手くゆくはずだと考えていました。だが違っていました。他に大事なものがあることに気がつきました。
- ② 年を重ねるに従い、経営学は当座の役には立っても、人間としての自分の価値を高めてくれる学問ではないことに気がつきました。
- ③ 経営学の陽の力だけでは片手落ちで、陰の力、つまり人間学の必要性に気がつきました。人間性と人格と徳性を高めなければ一流のコンサルタントにはなれないと反省。このままでは 将来クライアントの成長もどこかで限界が来ると思いました。つまり、経営学と人間学の両方をバランス良く身につけることの重要性に気がつきました。
- ④ 経営は人間を対象とした営みであるため、人間学で人間力を身に付けないと、上手く進展しないことが分かりました。

10. なぜ私は人間学の必要性に気づいたのか？

- ✓ 人間が分からないと統率することもできず、リーダーシップの発揮もできません。組織を引っ張ってゆき、業績を出し、人を養っていくのは至難の技なのです。
- ✓ 経営学と人間学の両者は車の両輪と同じで、片方だけでは前に進まないからです。すべてのリーダーに共通する大事なテーマなのです。
- ✓ よって、繰り返し、繰り返し**人間学**を学ぶことで、**人間力**を高める必要があるということになります。

11. 今後の展開について

- ✓ 経営学を学ぶ人は多いですが、人間学を学ぶ人は非常に少ないのが現状です。人間学を経営に活かせば、事業はもっと上手く行くはずなのに残念です。それは人間学を学ぶ場所や機会がとても少ないからだともっています。
- ✓ また、今までに、西洋に早く追いつけ追い越せと、陽の力（知識・技能）だけに注力してきたからだと思います。このままでは、どのようにして人間力（陰の力）を身に付けければ良いのでしょうか？とても難しい問題なのです。
- ✓ そこで、アジアビジネス連携協議会（通称ABC）ではオンライン講座を利用して**人間学の講座**を開催してゆきたいと考えております。皆様のご要望にお応えしたいと思います。ご安心頂ければと思います。ご利用いただければ嬉しく思います。改めてご案内したいと思いますので、どうかよろしくお願い致します。

ご清聴ありがとうございました。